

スマ種苗生産試験

企画・栽培養殖部 研究専門員 久保 満

全国第一位の生産量を誇る本県ブリ養殖については、早期人工種苗による周年出荷や輸出拡大への取り組み等を行っているところです。しかし、国内市場は縮小傾向にあり、生産業者から新しい養殖対象魚種の開発が求められています。

そこで、本県の魚類養殖の多様化と養殖漁家経営の安定を図るため、令和元年度から「スマ」の種苗生産技術開発に取り組んでいます。

スマとは

スマ(学名: *Euthynnus affinis*)は方言名でオボソ、ホシガツオ、ヤイト等と呼ばれ、東太平洋を除くインド、太平洋の熱帯、温帯海域に分布する**小型マグロ類**です。カツオやヒラソウダに似ていますが、胸鰭の下側にやいと(お灸)のあとのように数個の小黒点が見られるのが特徴です。成魚では全長1 m、体重10 kgになります。成長が早く、養殖試験では6ヶ月で2 kgを超えるという報告があります。産卵は2歳からで寿命は6歳前後と考えられています。

スマは**全身トロでクロマグロと同等以上の食味**から「幻の高級魚」と評され、市場では高価な値段で取引されています。



スマ(*Euthynnus affinis*)



全長:約50 cm 体重:約3 kg
100 t水槽で11尾飼育

ホルモン注射

スマ親魚の成熟・排卵を誘導するためにホルモンを注射しました。



産卵に成功

ホルモン注射後、水温を上げて飼育して5日後、当センターで初めてスマの産卵に成功しました!!



卵を収容した20 t水槽



卵の洗浄



スマの卵(卵径約0.9 mm)

ふ化に成功

当センターで飼育したスマの受精卵から、初めてふ化(約13,000尾)させることに成功しました!!



ふ化直前の卵(卵径約0.9 mm)



ふ化直後の仔魚(全長約3 mm)



ふ化後3日目(全長約3 mm)



ワムシを食べた跡(日齢3)